

春季における釣り中 人身海難発生傾向と対策

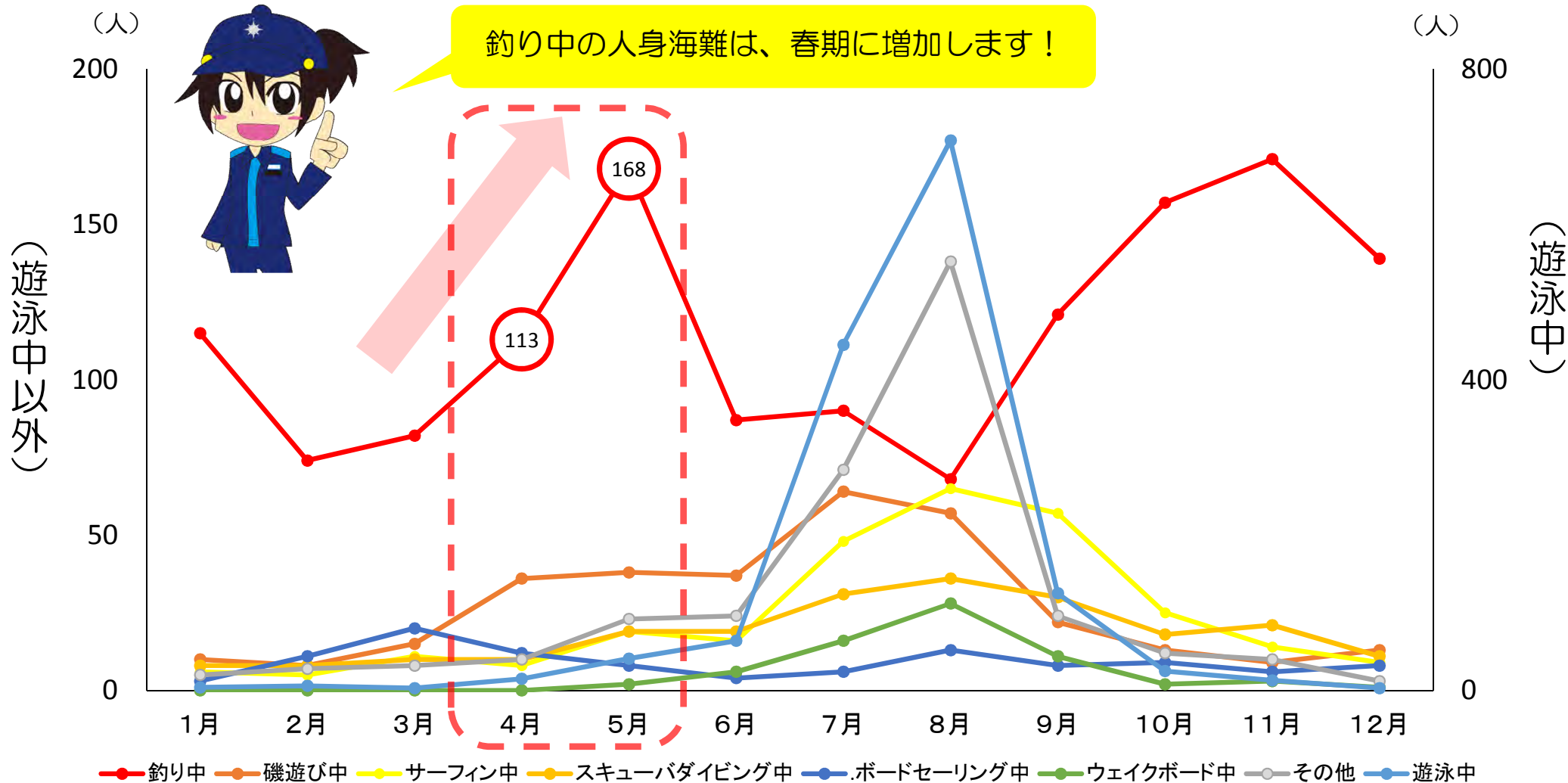
春季には、釣り中の海難が増加します！

海難発生傾向を知って、未然に海難を防ぎましょう！



平成30年4月
交通部安全対策課

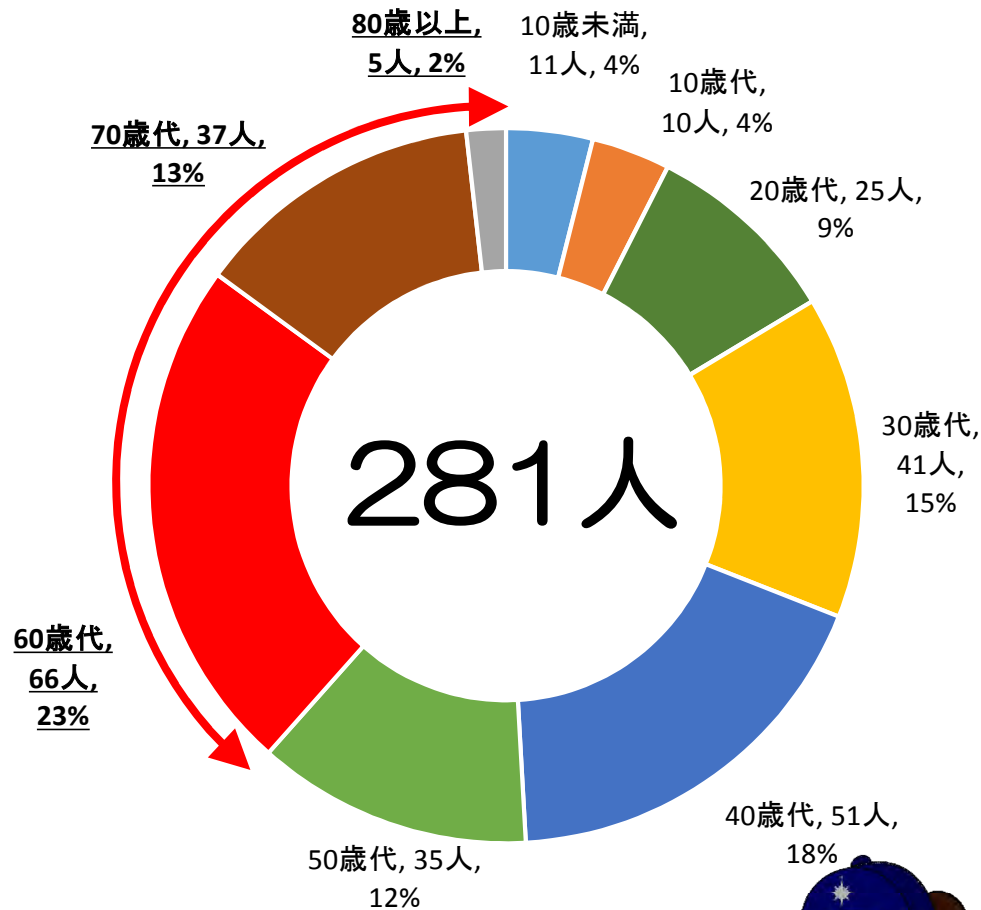
月別 マリナーに伴う人身海難発生状況



➤ 海上保安庁では、GW期間中、マリナーの安全対策を強化しています！

2. 釣り中事故 年代別発生状況 (H25-H29 (4-5月) 累計)

年代別発生状況

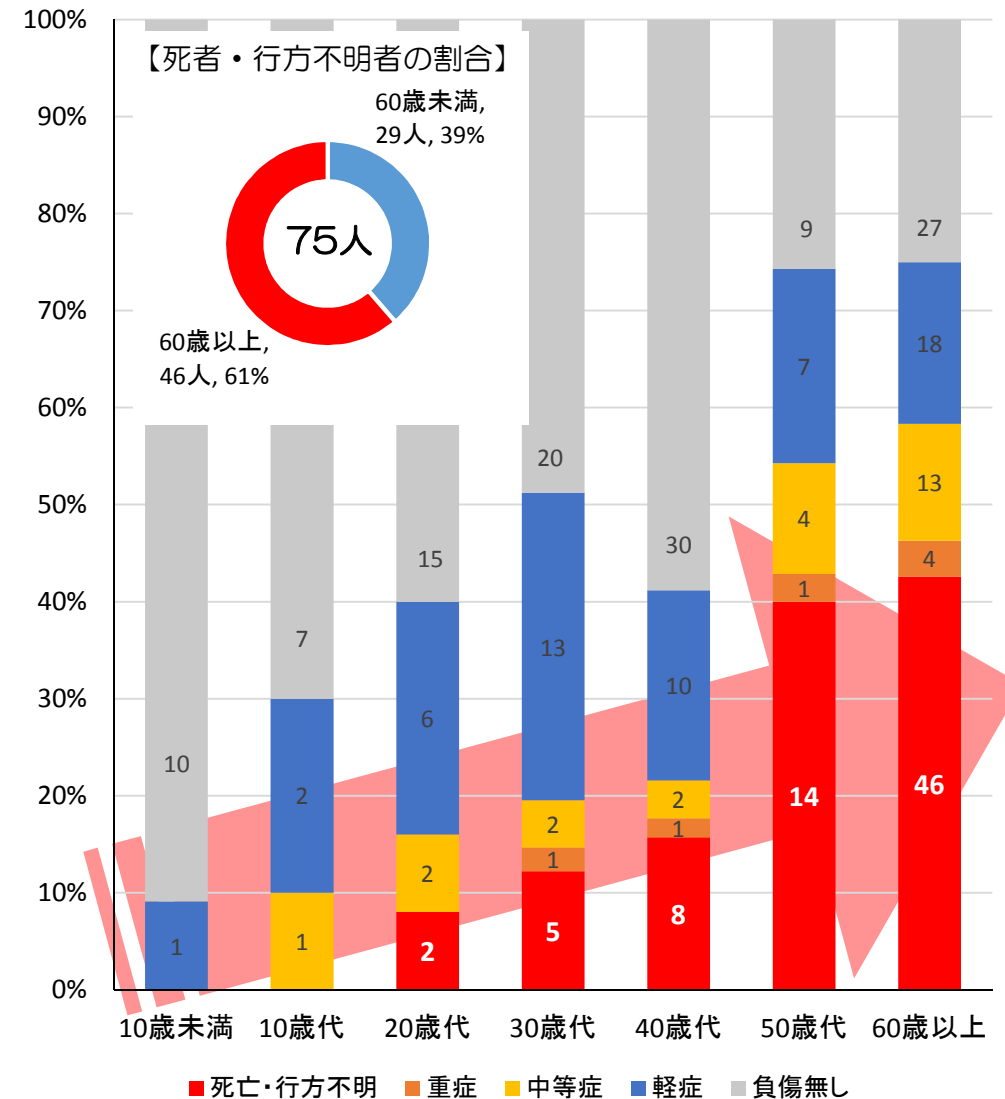


281人

約4割が60歳以上です！



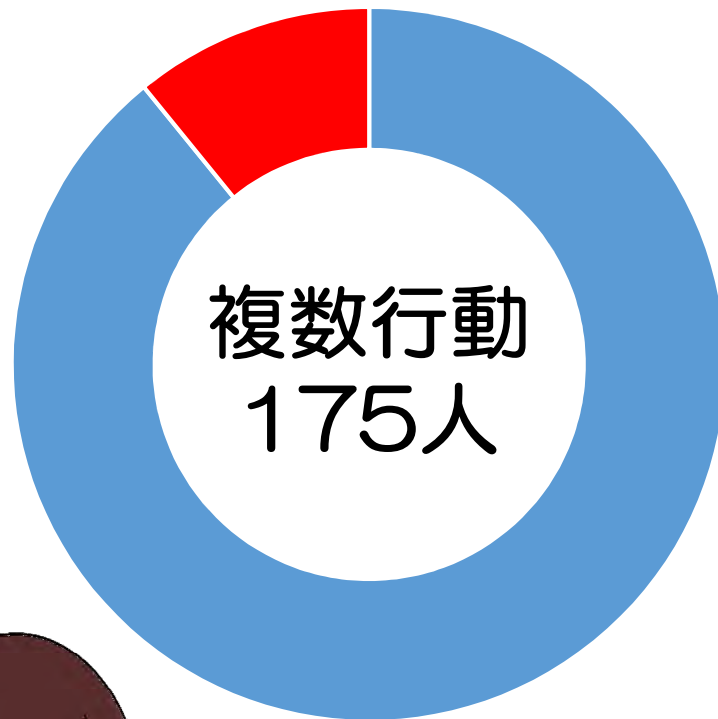
年代・負傷程度別の割合



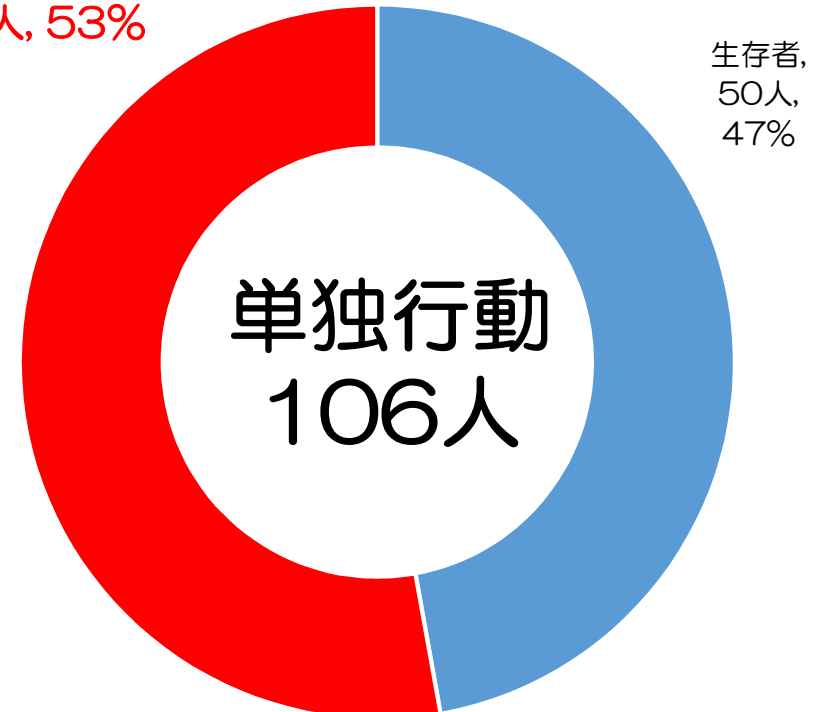
➤ 年齢が上がるほど、**重大な結果**となる人身海難の割合が高くなります！

海中転落事故者の単独・複数行動別の死亡率

死者・行方不明者,
19人, 11%



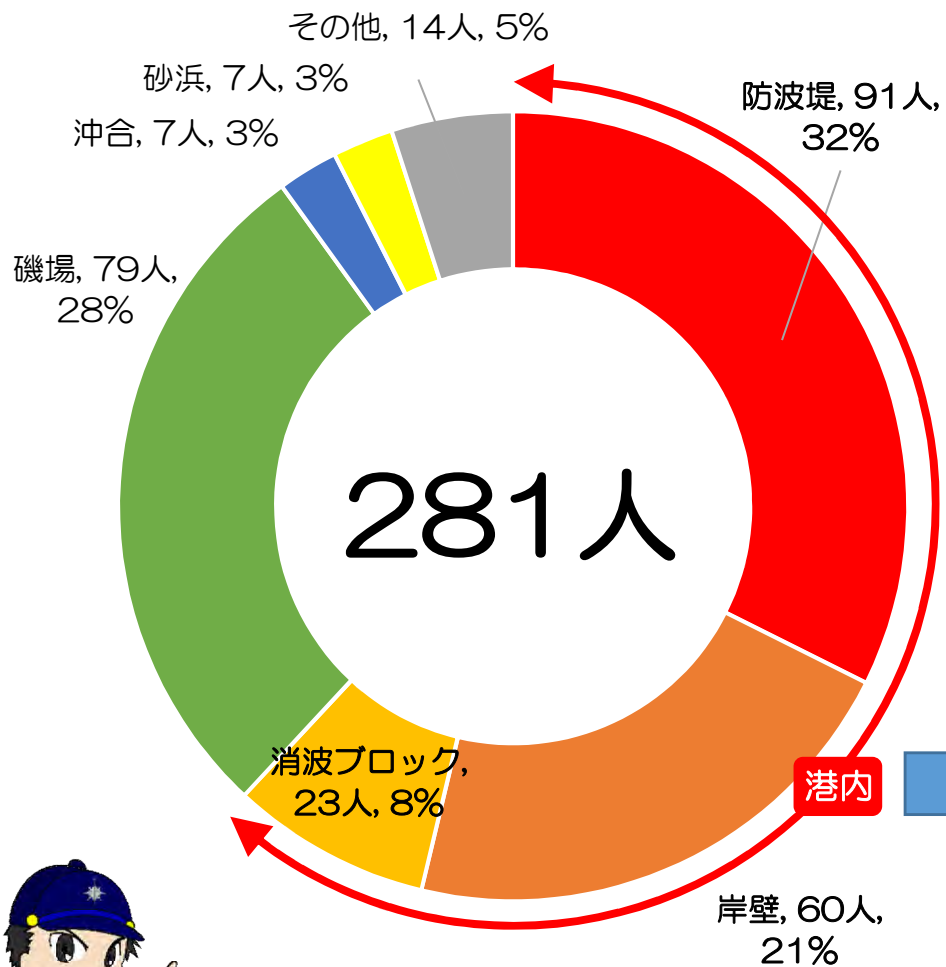
死者・行方不明者,
56人, 53%



複数で行動すれば、**救助機関への連絡が早まるなど、助かる可能性が高まります。**

➤ もしものときの安全のため、**複数で行動**しましょう！

港内における事故内容別発生状況



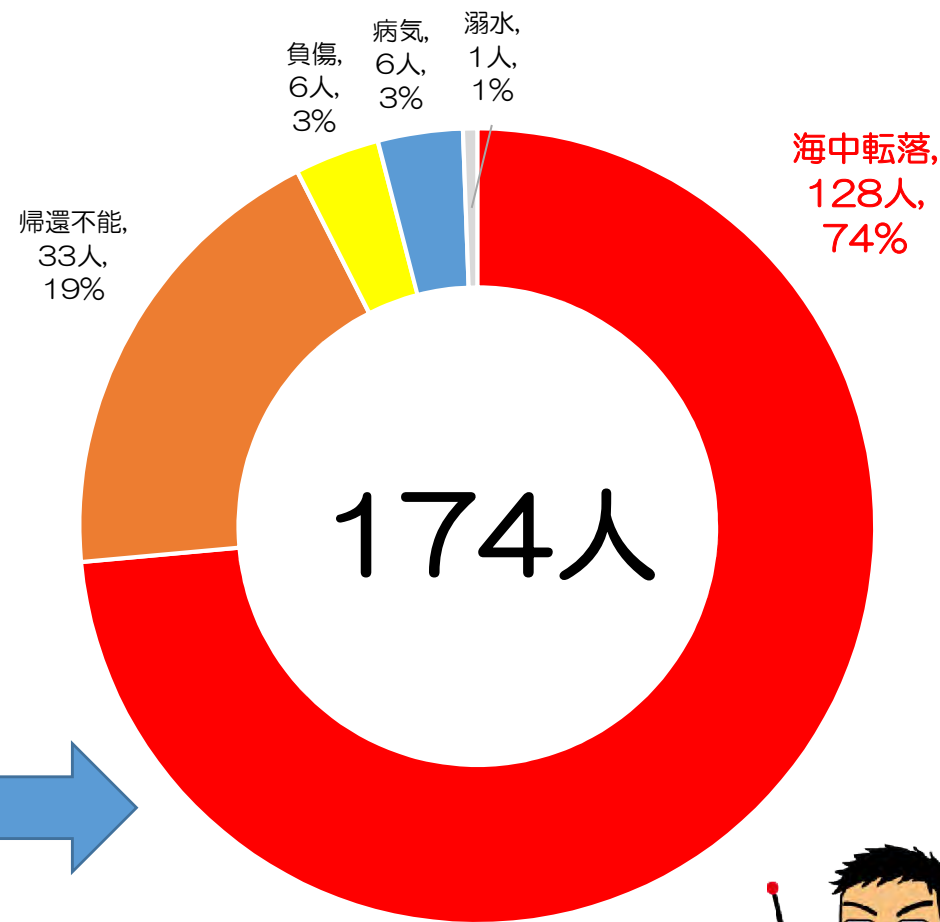
281人

港内



約6割は港内で発生しています!

港内における事故内容別発生状況



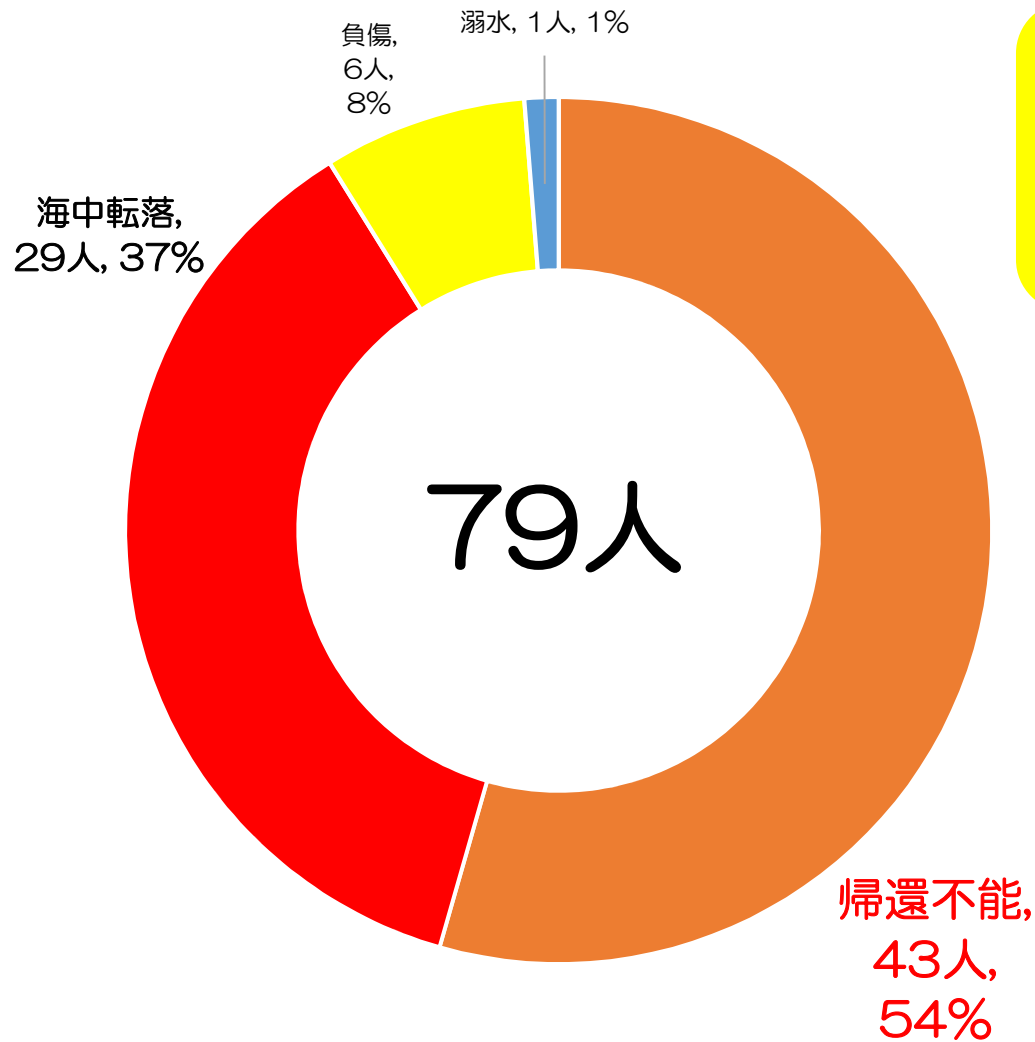
174人



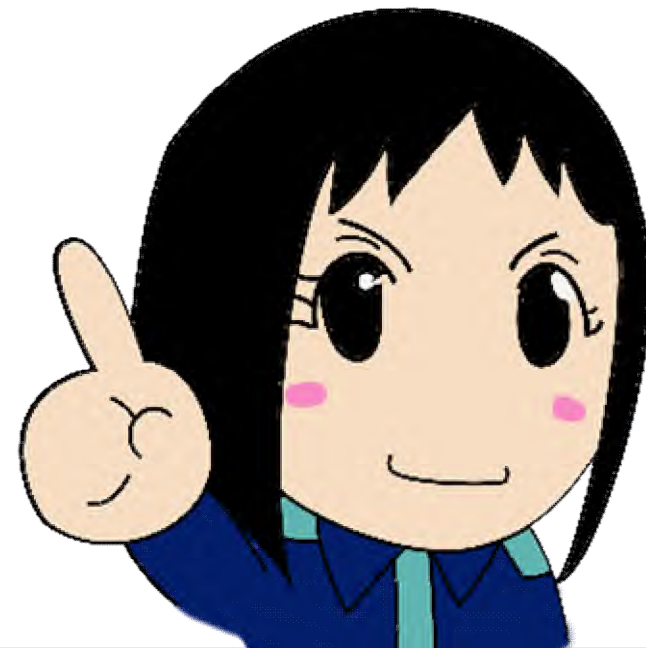
約7割が海中転落です!

➤ 転倒・足の踏み外しによる海中転落に注意しましょう!

磯場における事故内容別の割合

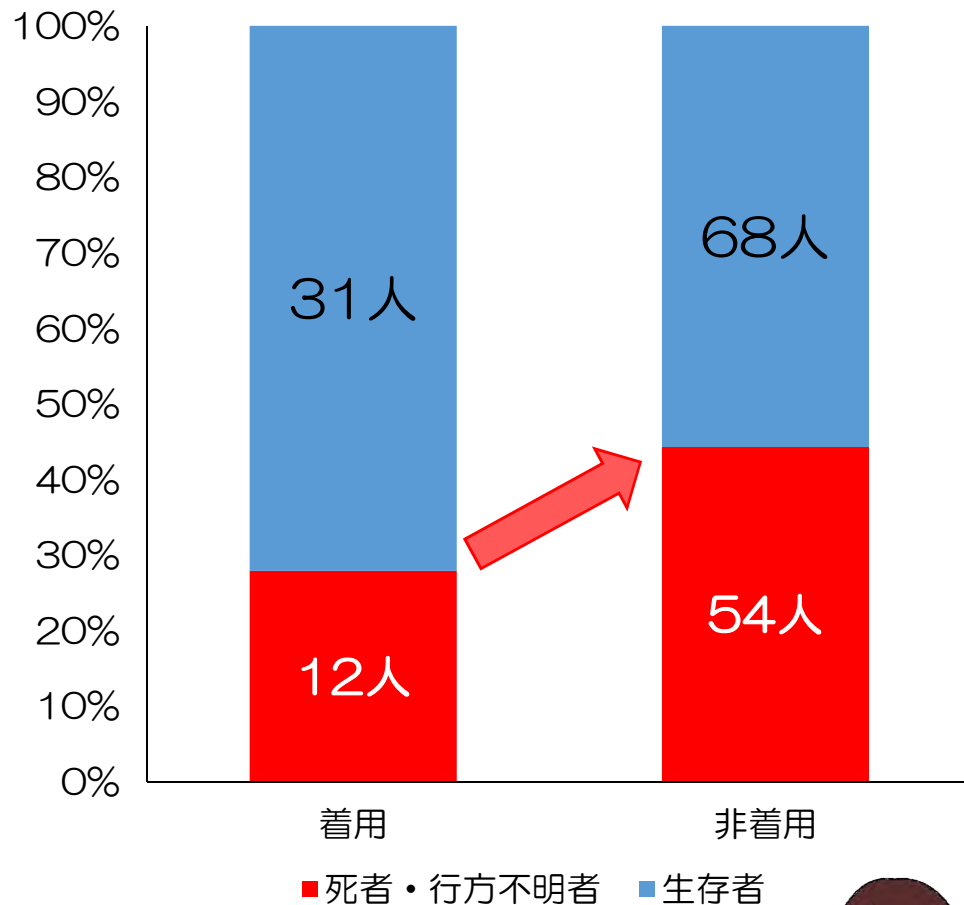


磯場では戻ってこれなくなる事故も多く発生しています！



➤ 磯場での釣りは、安全な場所でおこない、風や波が高くなる前に帰りましょう！

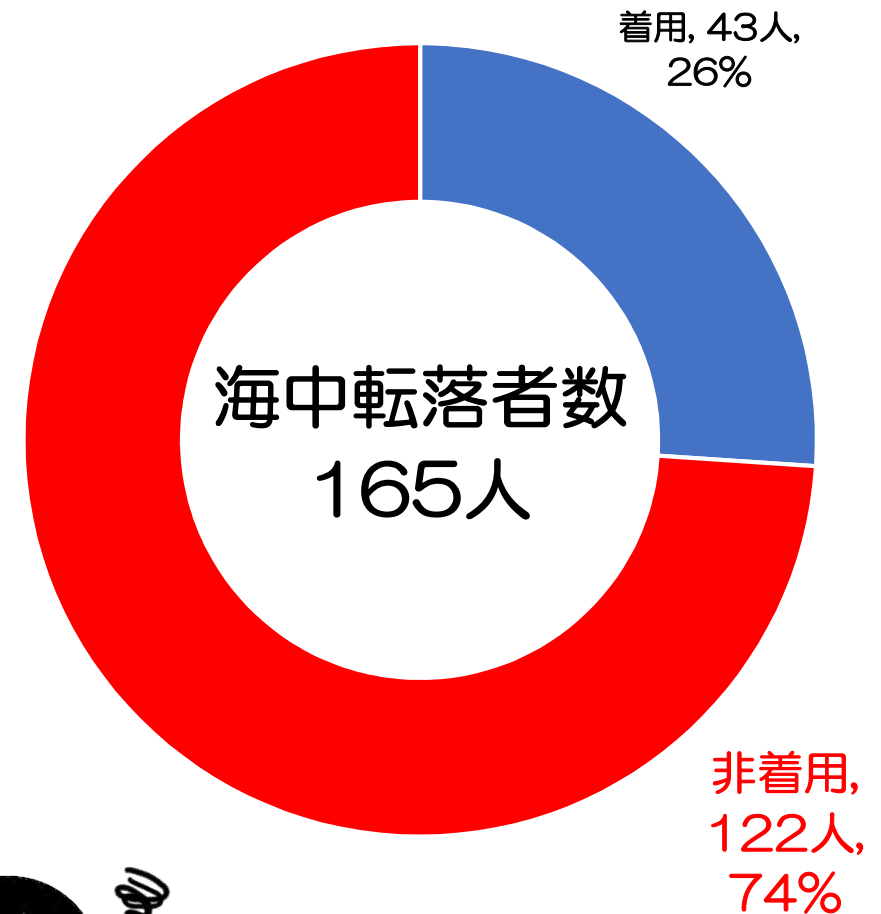
救命胴衣着用有無の死者・行方不明者の割合



死亡率に違いがあります！



海中転落事故時における救命胴衣着用の有無の割合

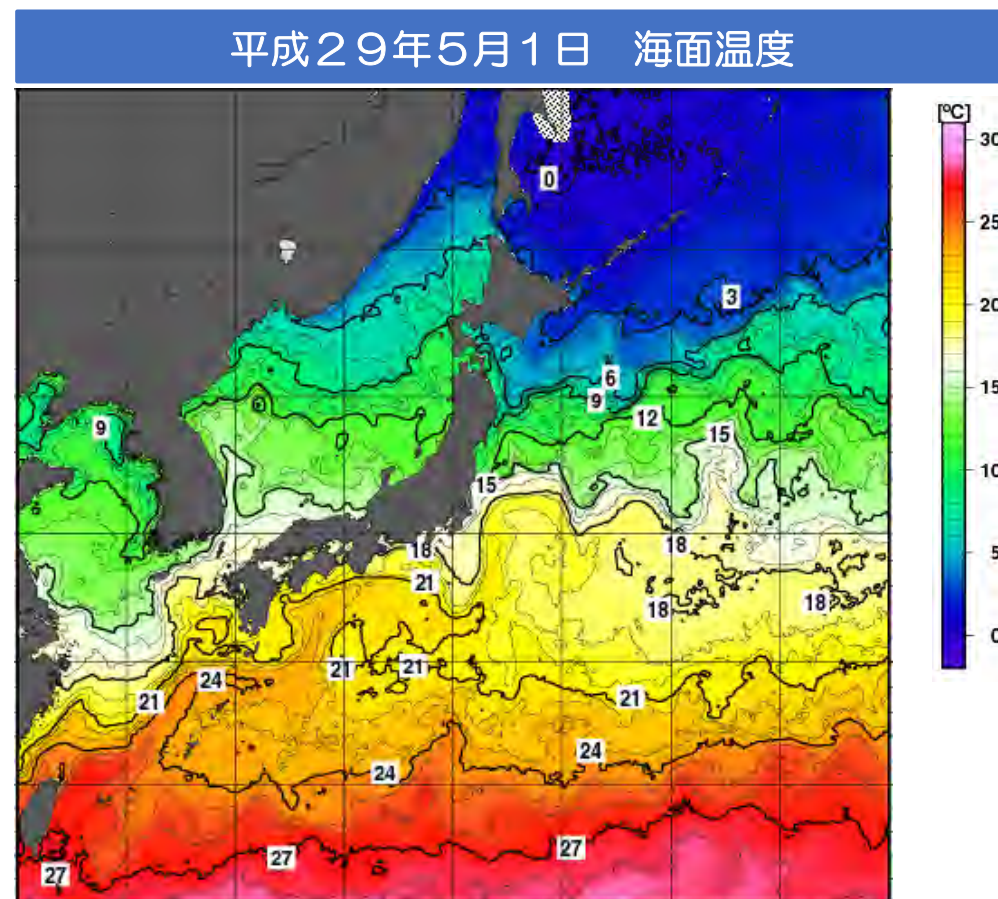


まだまだ、着用率が低い！

➤ 必ず救命胴衣を着用しましょう！

水温	生存予想時間
2℃未満	45分以下
2～4℃	1時間30分以下
4～10℃	3時間以下
10～15℃	6時間以下
15～20℃	12時間以下
20℃以上	不定（疲労度による）

※IMO船舶搜索救助便覧より



※気象庁ホームページより

上の表は、海水に浸かっている場合の**海水温度と生存可能時間**を表したものです。

温度の低い海水に長く浸かっていると、まず「**低体温症**」になります。低体温症は、体温が35度以下になる状態で、**次第に動作が鈍く緩慢**になり、中度では**意識が混濁**して、正しい応答が得られなくなります。その後は、**意識が無くなり**、重度の非常に危険な状態になります。

春季期間における釣り中事故の傾向分析

- 4～5月に事故が急増
- 年齢が上がるほど、**重大な海難**の割合が高い
- **約6割**が**港内**等で発生
- **単独行動**は**死亡率**が高い
- **港内**では**約7割**、**磯場**でも**約4割**が**海中転落**
- **磯場**における事故のうち、**約5割**が**帰還不能**
- **約7割**が**救命胴衣非着用**

海中転落した場合の対処法（水難学会提唱）

合言葉は…

「**浮いて待て!**」

大きく息を吸い、空気を肺にためる。
あごを上げて上を見ると呼吸しやすい。

手は水面より下。

靴ははいたまま。
軽い靴は浮き具代わりに。

手足は大の字に広げる。



事故防止のポイント

- **連絡手段**をもって、**複数行動**をしましょう
- **救命胴衣**は常時着用しましょう
- 海の緊急通報 **118番**



沿岸域情報提供システム **海の初心者でもわかる!**

海の安全情報

Maritime Information and Communication System

海の安全情報で提供している様々な情報

- 1 気象現況**
日本全国の灯台等の観測機器で観測した気象情報(風速・風向・波高など)を30分ごとに更新し、提供しています。
- 2 気象警報・注意報等**
気象庁が発する気象警報・注意報等をリアルタイムに提供しています。
● 気象警報
特別警報・気象警報(暴風・大雪警報・大雪特別警報・大雪特別警報)・暴風・大雪警報
● 気象注意報
特別警報・気象警報(暴風・大雪警報・大雪特別警報)・暴風・大雪警報
- 3 緊急情報**
海上保安庁が発表する緊急情報をリアルタイムに提供しています。
● 緊急情報
● 海上保安庁が発表する緊急情報
● 出港の禁止、乗客の付添者等に関する緊急情報
● 船舶の沈没、航行困難に関する緊急情報
● 船舶の衝突、航行困難に関する緊急情報
● 船舶の衝突、航行困難に関する緊急情報
- 4 海上安全情報**
海上工事・海上作業等による交通規制情報等を提供しています。
- 5 ライブカメラ**
観測機器に接続したウェブカメラの映像を配信しています。

テレホンサービス
ホームページ
電子メール
モバイルアプリ
スマートフォン
タブレット

海上保安庁
JAPAN COAST GUARD

スマートフォン用サイト

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

各機能のアイコンをタップすると、最新の情報を提供します。さらにタップすると詳細な情報が表示されます。

観測機器の位置
観測機器の位置・観測結果を表示します。

気象現況
気象庁のアイコンをタップすると「風速・風向」の観測結果が確認できます。

気象警報・注意報
気象庁のアイコンをタップすると「気象警報・注意報」の観測結果が確認できます。

緊急情報
海上保安庁のアイコンをタップすると「緊急情報」の観測結果が確認できます。

海上安全情報
海上保安庁のアイコンをタップすると「海上安全情報」の観測結果が確認できます。

ライブカメラ
観測機器に接続したウェブカメラの映像を配信しています。

スマートフォン用サイト

パソコン用サイト
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>

携帯電話用サイト
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/mo/mo/index.html>

※モバイル版は無料でご利用いただけます。サービスを利用するための認証情報やパスワード、電子メールの送受信は別途料金がかかります。詳しくは「お問い合わせ」をご覧ください。

「海の安全情報」とは
全国各地の灯台などで観測した**気象情報**、**海上工事等の情報**や、海上模様が把握できる**ライブカメラ**映像をリアルタイムに提供しています。

スマートフォン用サイトでは、GPS機能を利用して、**現在地周辺**の気象・海象の現況、など海に関する様々な情報が地図画面上で確認できます。

さらに、海上保安庁が発表する**緊急情報**や気象庁発表の**気象警報・注意報**などを、「**緊急情報配信サービス**」として提供しています。

(※「緊急情報配信サービス」の利用には事前登録が必要です。(無料))

緊急情報配信サービス

<https://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>

事前に登録されたメールアドレスに、24時間体制で海上保安庁が発表する緊急情報や気象庁発表の気象警報・注意報、気象現況等を電子メールで配信するサービスを提供しています。

● 配信する情報：

- 海上保安庁発表の緊急情報
- 気象庁発表の気象警報・注意報等
- 気象現況

メール配信の登録変更・登録解除は、下記メールアドレスに空メールを送信してください。
regist@ap.mics.kaiho.mlit.go.jp

※迷惑メール対策機能をご利用中の方は、ドメイン指定受信設定に「mics.kaiho.mlit.go.jp」を追加して下さい。